

Anritsu Advancing beyond

中期経営計画 GLP2026

濱田 宏一

アンリツ株式会社
代表取締役 社長

2024年4月25日



東証 プライム
証券コード：6754
<https://www.anritsu.com>

(ノート部記載なし)

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与える重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

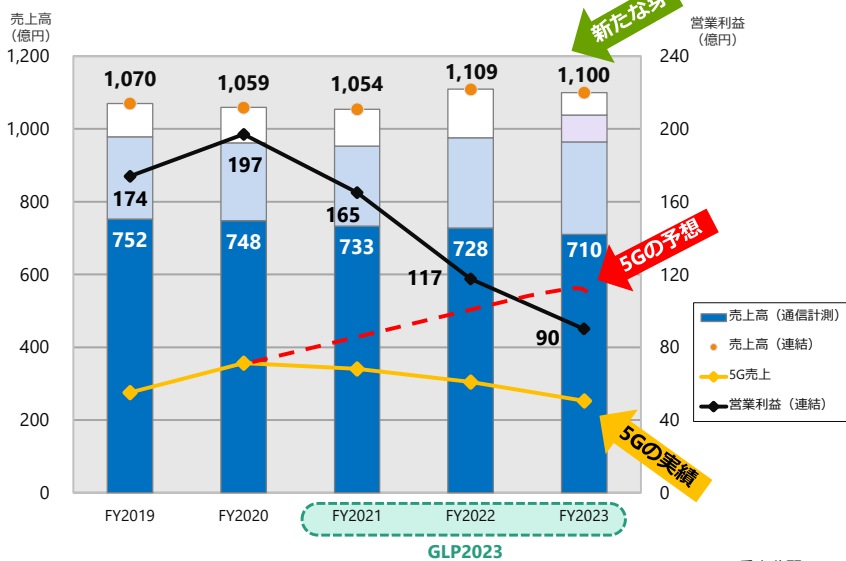
(ノート部記載なし)

目次

1. 中期経営計画（GLP2023）レビュー
 2. 中期経営計画（GLP2026）の基本方針
 3. GLP2026とFY2030の目指す姿
 4. 売上高・営業利益計画
 5. 財務戦略
 6. 人材戦略
 7. サステナビリティ目標
 8. 通信計測市場トレンドと事業機会
- Appendix : 用語集

(ノート部記載なし)

1. 中期経営計画（GLP2023）レビュー



項目	成果
財務	売上1,100億円 営業利益90億円と 数値目標は未達も、 株主還元は計画通り実行 (配当性向：54%、 総還元性向：87%)
重点 分野*	高砂製作所のM&Aにより EV・電池試験市場へ参入
通信 計測	5G市場の縮小と世界的な インフレ圧力が続いたが、 生成AIの急拡大による データセンタ高速化需要 を獲得
サステナ ビリティ	女性管理職比率：12.1% (1.3ポイント上昇)

* 4つの重点分野：ローカル5G、EV・電池、医療・医薬品、光センシング

GLP2023においてFY2023の当初計画は、連結での売上高1,400億円、営業利益270億円でした。しかしながら実績は、売上高1,100億円、営業利益90億円となり、大幅に未達となりました。

GLP2023を計画したFY2020は、5Gの計測器市場のピークが、FY2023になると予測していました。これは過去の3Gや4Gのピーク曲線から推定しており、オペレータやスマートフォンメーカーも同様の予測でした。

しかしGLP2023の期間に入ると、コロナ禍や米中の貿易戦争、部品不足や高インフレなどの影響を受け、5Gは減速を続け、FY2023の5G関連計測器の売上高は、FY2020に比べて大幅に減少する結果となりました。

しかしながら、GLP2023の3年間で新領域のビジネスを立ち上げた結果、FY2023のトップラインとしては、1,100億円の売上高を確保できました。

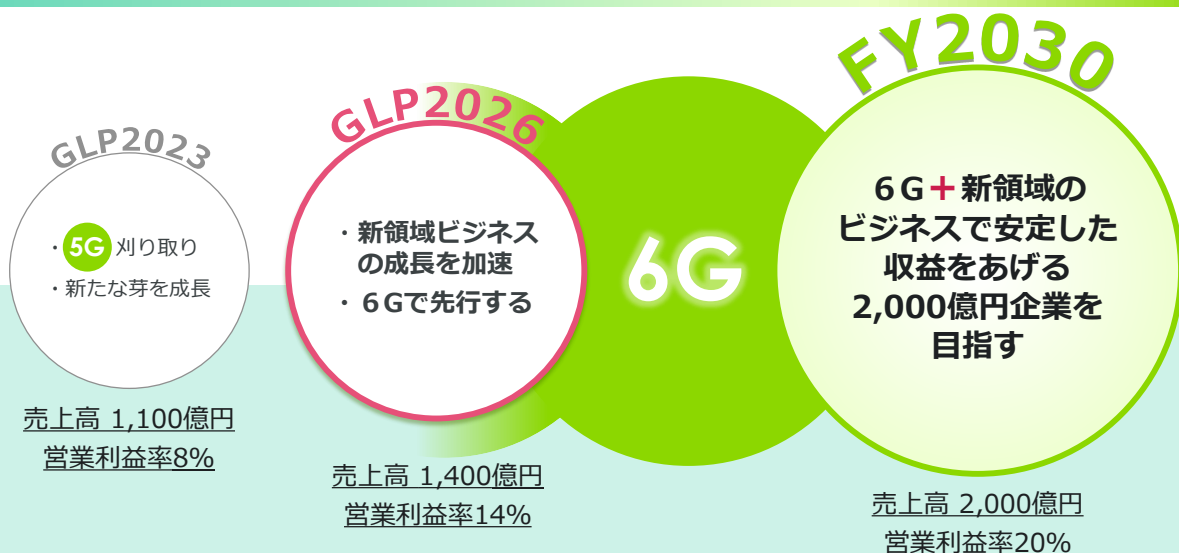
2. 中期経営計画（GLP2026）の基本方針

- 1 成長投資に400億円以上（M&A+設備投資）
- 2 ROE \geq 10%を安定的に達成する事業ポートフォリオの構築
- 3 2026年度の営業利益の25%を通信計測以外で創出
- 4 新領域ビジネスの人材強化、全社での人材育成体制を構築
- 5 事業活動における資源循環(サーキュラーエコノミー)の実現
- 6 株主還元では配当性向50%以上を目指す

(ノート部記載なし)

3-1. GLP2026とFY2030の目指す姿

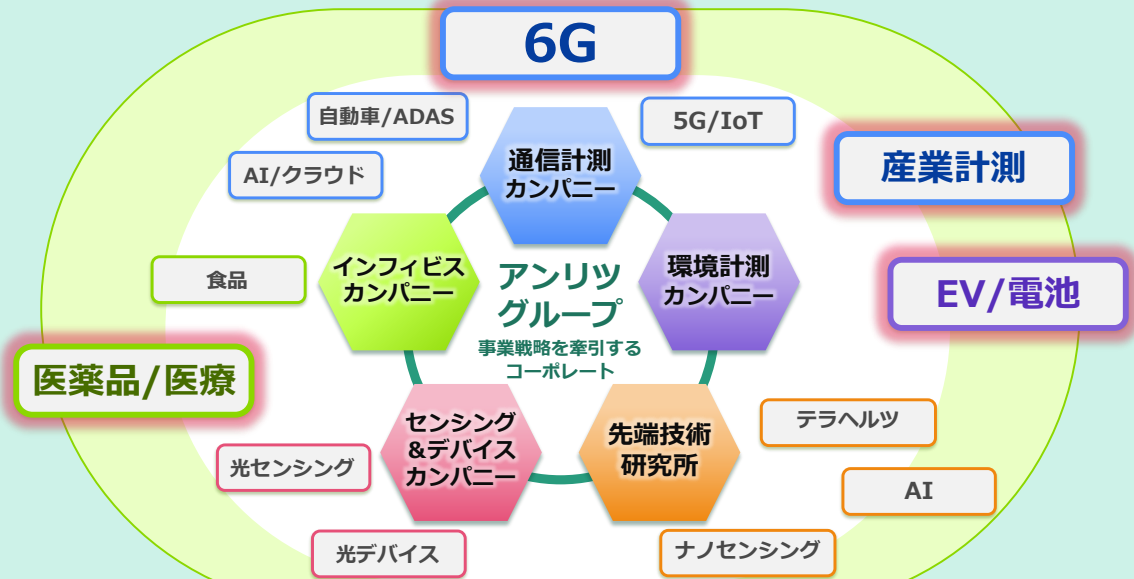
「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。



GLP2026では、GLP2023で育てた新しい芽を事業の柱へと成長させ、最終年度のFY2026、連結売上高1,400億円、営業利益200億円、営業利益率14%を目指します。

GLP2026の3年間は、5Gから6Gへの移行期であり、通信計測市場は、厳しい環境ではありますが、FY2030 2,000億円企業となるための重要なマイルストーンと位置付けております。M&Aとオーガニックで、新領域ビジネスの成長を加速、さらには来るべき6Gビジネスの需要を確実に獲得するための準備を致します。

3-2. GLP2026 6Gと3つの新領域ビジネス



*インフィビスカンパニー：PQA事業

ANRITSU CORPORATION

GLP2026

7

GLP2026では6Gと3つの新領域のビジネスを重点的に拡大します。3つの新領域のビジネスは“産業計測”と“EV/電池”そして“医薬品/医療”です。“産業計測”という新しい言葉がありますが、これは通信以外の産業、たとえば自動車や電子部品、コンピューティングや航空宇宙など広い分野にスペクトラムアナライザやVNA、あるいは電源などアンリツが持っている汎用製品や他社製品もラインナップに加え全社の力を使って販売を拡大していきます。

3-3. 6Gと新領域ビジネスの成長をグループ横断で加速

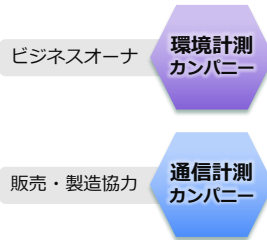
6G

6Gで先行。
要素技術、
キーデバイスで差別化



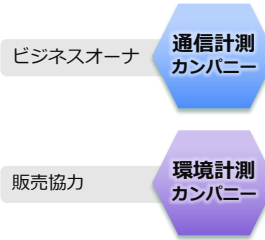
EV/電池

販売と製造で通信計測
事業がグローバル
に協力。
成長を加速



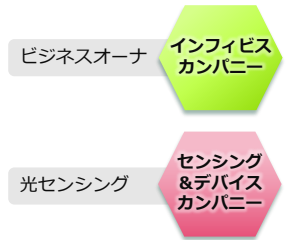
産業計測

通信計測事業と環境計
測事業で通信以外の
産業に汎用計測器を
拡販



医薬品/ 医療

インフィビスとセンシ
ング&デバイスは光セ
ンシング技術等を使い、
医薬品、医療分野開拓



*インフィビスカンパニー：PQA事業

(ノート部記載なし)

4. 売上高・営業利益計画

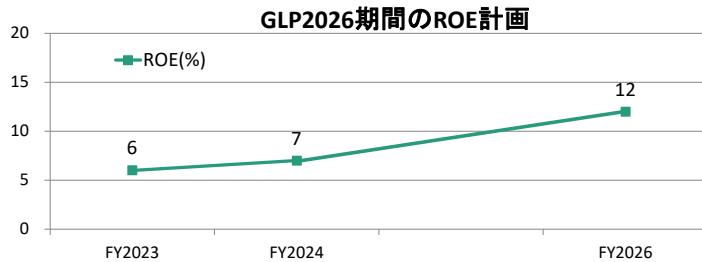
指標		FY2023	FY2024	FY2026
売上高		1,100 億円	1,150 億円	1,400 億円
営業利益		90 億円	110 億円	200 億円
営業利益率		8 %	10 %	14 %
当期利益		77 億円	83 億円	150 億円
ROE		6 %	7 %	12 %
通信計測事業	売上高	710 億円	738 億円	900 億円
	営業利益	75 億円	92 億円	150 億円
	営業利益率	11 %	12 %	17 %
PQA事業	売上高	254 億円	267 億円	300 億円
	営業利益	13 億円	19 億円	36 億円
	営業利益率	5 %	7 %	12 %
環境計測事業	売上高	74 億円	90 億円	130 億円
	営業利益	5 億円	7 億円	14 億円
	営業利益率	7 %	8 %	11 %

(参考) GLP2026想定為替レート: 1米ドル=145円、1ユーロ=155円

FY2026のグループ目標として連結売上高1,400億円、営業利益200億円、連結営業利益率14%、当期利益150億円、ROE12%の目標達成に取り組みます。

5. 財務戦略

1. 株主資本コスト（7%）を上回るROEの実現
企業価値KPI ROE \geq 12%



2. キャピタルアロケーションの最適化

500億円以上の営業CFに加えて、資産効率性の向上と強固な財務体質を活かした資金調達によりキャッシュを創出し、新領域のビジネスを推進するために400億円以上の成長投資を行います。株主還元については、配当は連結配当性向50%以上を目標とし、自己株式の取得は必要に応じて機動的に実施致します。

GLP2026期間の
キャピタルアロケーション
キャッシュ創出 キャッシュ使途



(ノート部記載なし)

6-1. 人材戦略

経営ビジョン	「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。
経営戦略	既存事業の枠を超え、FY2030に売上高2,000億円、営業利益率20%を目指す 新領域ビジネスの開拓 強いものづくり 働き方改革
人材ビジョン	「会社と多様な従業員がベクトルを合わせ、事業(社会)貢献意識を持ち、仕事と私生活のバランスを取りながら生き生きと働いている」
人材課題	<ul style="list-style-type: none"> 経営戦略に連動した人材確保と配置 年齢別人員構成：FY2030に向けコア・中堅層の不足、シニア層の活用 経営戦略実現に向けた職場風土醸成：成長・挑戦/多様性受容/仕事と生活のバランス

■ Initiative

● 成長事業・重点領域の人材確保と育成

- ✓ 経営戦略からトップダウンで人員計画を作成し、全体最適で戦略的な人員確保/配置/教育を行う
- ✓ 経営層、経営戦略部門、人事部門によるレビュー体制の確立（人財戦略レビュー）
- ✓ A-SKILLSを立ち上げ、カンパニー横断での人材育成体制を構築

● 若年/リーダー層の積極採用と育成、およびシニア層活用強化

- ✓ 新卒/キャリア問わず、若年層/コア人材の積極的な獲得を目指す
- ✓ 配置/職種転換の推進やリスクリング等の継続的な成長支援によるシニア層活用強化

● 経営/人材ビジョン実現に向けた職場風土醸成

成長・挑戦

- ✓ 自らの壁を取り払い、新たな領域に好奇心を持って取り組む人材、ステークホルダーや他社と共に社会課題の解決を目指す人材を育成する

多様性の受容

- ✓ 価値観や考え方も含め多様性を持つバラエティに富んだ人材が混ざり合い、多様な視点と強みを活かし新たな価値を創造する

ライフワークバランス、就業環境整備

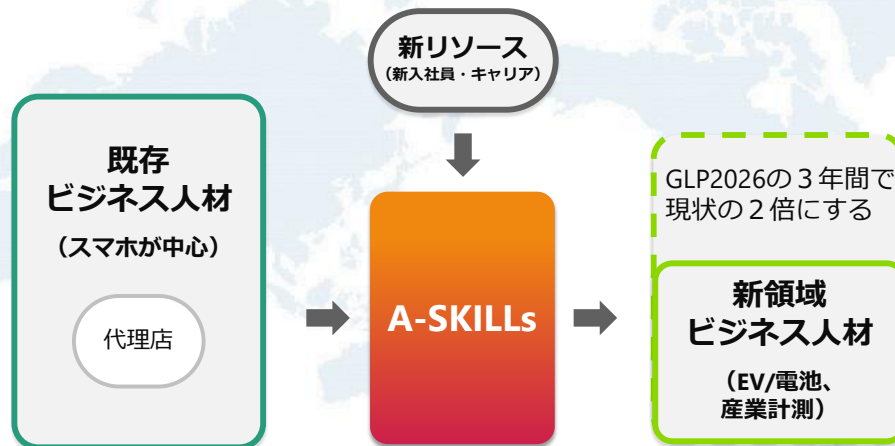
- ✓ 「生活と仕事のバランスを考えて、働きやすく人生を楽しめる会社」と「労働生産性が高く働きがいがある会社」の両立に向けた制度・環境を整備する

(ノート部記載なし)

6-2. 新領域ビジネスの人材を育成

Anritsu SKILLS training center (A-SKILLS)をスタート。

- 新領域ビジネスの“技術”と“販売力”のスキルを身に着ける。
- EV/電池計測、産業計測分野の人材をグローバルで増強



新領域のビジネスを拡大するためには人材が重要です。4月からAnritsu SKILLS training center(A-SKILLS アスキルズ)をスタートします。A-SKILLSではEV/電池や汎用計測器の技術と販売力を身に付け、3年間で新領域ビジネスの人材をグローバルで約2倍に増強します。

7. サステナビリティ目標

目標・取組

GLP2026:KPI

温室効果ガスの削減

- 温室効果ガス (Scope1+2) (※) : 2021年度比 23%以上削減
- 温室効果ガス (Scope3) (※) : 2019年度比 17.5%以上削減
…2030年度で、Scope1+2は42%以上、Scope3は27.5%以上削減

E
環境

自家発電比率の向上(PGRE 30)

- 自家発電比率 : 14%以上 … 2030年ごろまでに30%程度まで高める

資源循環(サーキュラーエコノミー)の実現

- 資源循環に対応した製品をリリースする
- プラスチックごみを100%マテリアルリサイクル

ダイバーシティ経営の推進

- 女性の活躍推進 : 女性管理職比率 15%以上
- 障がい者雇用促進 : 職域開発による法定雇用率 2.7%達成

S
社会

働きがいのある労働環境の実現

- 社員満足度調査の働きがいポジティブ回答率 : 80%以上

グローバルなCSR調達の推進 (環境、労働環境、人権などにおける社会的責任)

- サプライチェーン・デューデリジェンスの強化 : 10社/年以上
- CSR調達に係るサプライヤーへの情報発信 :
3回/年、教育2回/年以上

G
ガバナンス

グローバルなガバナンス向上

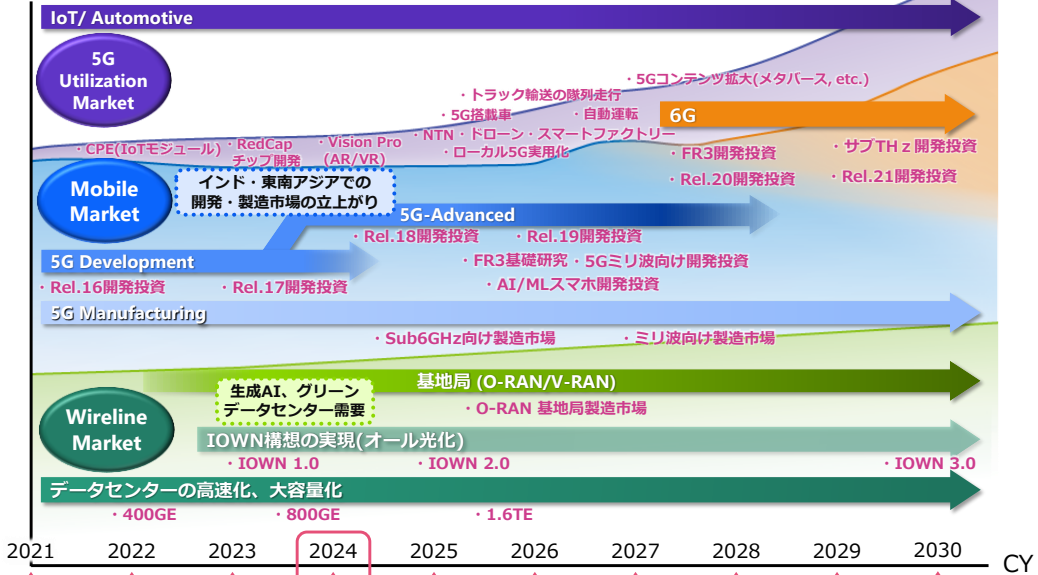
- 取締役の多様性の推進 : 女性取締役比率 20%以上
- 取締役会における重要経営課題の集中討議 6回/年

(※) Scope1 : 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス)、Scope2 : 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出、Scope3 : カテゴリ1(購入した製品・サービス)+カテゴリ11(販売した製品の使用)における間接排出

(ノート部記載なし)

8. 通信計測市場トレンドと事業機会

市場規模



2021年以降スマートフォン市場は、世界的に出荷台数の減少が継続しており、5Gスマートフォン向けの計測器市場は緩やかに減少してきました。

しかしながら、5G利活用分野に係る計測器市場はこれからも緩やかに成長するとみており、今後、5Gスマートフォン向け計測器市場の復調により、5G計測器市場は2027年頃までは継続すると見込んでいます。

また、6Gでの使用を見据えた周波数帯FR3（7GHz-15GHz）が、WRC-23で決まり、韓国、アメリカでは、6Gの実現に向けた研究がスタートします。6Gについては、2030年のサービス開始を目指し、3GPPリリース21で標準化される予定であり、計測器需要は2027年頃から本格的に立ち上がると考えています。

2023年に登場した生成AIにより、データセンターの高速化が推進され、400GEから800GEへの高速化需要が堅調です。さらに1.6TEの高速化要求も前倒しされており、その先のオール光化など、ネットワークの高度化に向けた動きがネットワーク向けの計測器需要を牽引すると考えています。

Appendix

(ノート部記載なし)

ADAS :	Advanced Driver-Assistance Systems
AR :	Augmented Reality
A-SKILLS :	Anritsu SKILLS training center
CPE :	Customer Premises Equipment
CSR:	Corporate Social Responsibility
GLP :	Global Long-term management Plan
IOWN :	Innovative Optical and Wireless Network
ML :	Machine Learning
NTN :	Non-Terrestrial Network
O-RAN :	Open Radio Access Network
PGRE :	Private Generation of Renewable Energy
PQA :	Products Quality Assurance
ROE:	Return On Equity
VR :	Virtual Reality
V-RAN :	Virtual Radio Access Network

(ノート部記載なし)

The Anritsu logo is displayed in a teal color, with the tagline "Advancing beyond" positioned directly below it. The logo and tagline are centered within a white rectangular area. To the right of the text, there is a decorative graphic consisting of several parallel, curved lines in shades of green and white, which transition into a solid green triangular shape at the bottom right corner of the page.

Anritsu
Advancing beyond

(ノート部記載なし)